

# 郵趣振興協会 活動報告（17）

## 2021年度 第1Q

2021年3月7日～2021年6月7日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会（以下「当協会」と略す。）は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

### 全国切手展「スタンベックス ジャパン2021」を開催

全国切手展「スタンベックス ジャパン2021」ですが、予定されていた4/10-13の開催を無事終えることができた他、記念企画として開催されたWEBセミナー『競争切手展に向けた作品の改善方法』（4/4, 5/4, 6/6の3回）も無事完了しましたので、ご報告申し上げます。

切手展自体の事業規模は528,550円でした。当協会予算からの拠出金額は予算30万円に対して94,100円（32%）に抑えて運営できました。会費・寄付金でご支援くださいました正会員・賛助会員の皆様にご感謝申し上げます。なお、詳細の収支は下表の通りです。

収入		振興協会より拠出	94,100	支出		目録等外注	200,000
	出品料		214,450		出品料		15,000
	寄付		20,000		会場装飾費		29,546
	プレミアムスポンサー費		200,000		旅費交通費		9,640
合計			528,550		通信運搬費		14,198
					消耗品費		9,816
					撤去		77,000
					副賞費用		45,000
					謝礼審査員		45,000
					交通費審査員		18,350
					謝礼実行委員		65,000
				合計			528,550

同展覧会の記念企画として実施したWEBセミナーは、正会員・賛助会員（44名）に会員特典として無料視聴チケットを配布したほか、スタンベックスジャパン2021出品者（16名）に同様の措置を取りました。視聴チケットの有料販売はスタンベディア社を通じて一般の方に行い、20名の方にご購入いただきました。

展覧会はもちろん、クリティーク（審査員との対話による作品の改善指導で、オンラインクリティークも実施しました）やWEBセミナーも大変好評を博しましたので、来年も本年以上に充実した競争展が開催できるよう、共催者・協賛者・後援者と調整して進めたいと考えております。正会員・賛助会員の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 役員を改選

今回の報告書の期間には、2回の総会を開催しております。まず、当協会の現理事及び監事の任期が3月31日をもって切れることを受けて、前回の報告書で、代表理事に対する新しい役員の立候補を募集したところ、募集締切日の3月20日までに下記の立候補がありましたので、3月31日に総会を開催し、議決権をもつ正会員の投票で全員が選任されました。

理事候補 菊地恵実 斎享 横山裕三 吉田敬  
監事候補 守川環

なお、池田健三郎理事からは、2019 年前半にご多忙のため当協会の経営への参加が困難となった旨お申し出頂き、任期末を持ち理事をご退任されたい旨ご連絡をいただきました。

また、行徳国宏理事は、年齢および COVID-19 の流行により参加しての手伝いが難しいことから任期末を持ち、理事をご退任されたい旨ご連絡をいただきました。

## 行徳国宏氏を名誉会長に選任

4月2日に新年度最初の理事会を開催し、新任理事の中から吉田敬氏を代表理事に選出しました。また前期末をもち理事を退任した行徳国宏理事について、これまでの貢献への感謝を示すため、名誉会長にご就任いただくことを決議し、同氏にも受諾いただきました。

なお、名誉会長は、当協会の経営には携わりませんが、郵趣に関する知見を生かし、当協会の経営にさまざまなご指導をご好意いただけることになっております。



郵趣振興協会 名誉会長  
行徳 国宏

## 第4期決算を承認

当協会の第4期（2020年度：2020/4/1-2021/3/31）決算がまとまり、第5期（2021年度：2021/4/1-2022/3/31）事業計画・予算と共に、5月10日の総会で議決権をもつ正会員の投票で承認されました。

活動計算書（商法上の法人における損益計算書に当たります）によれば、第4期の経常収益は857,105円、経常費用は608,154円で、248,951円を第5期に繰り越すことが可能となりました。

経常収益の大きな割合を締めるのは、正会員・賛助会員からの受取会費で618,000円となります。これに展覧会の出品料（郵博 特別切手コレクション展、スタンバックスジャパン事業）等が加わった金額が経常収益です。

経常支出については、消耗品費181,246円と、ボランティア評価費用215,000円で3分の2を占めています。前者は、切手コレクション展示パネルの修繕費用及び同パネルの保管台車の購入費用です。後者は、各催事にご協力いただいた方にお支払いする謝礼の総額です。当協会では第3期に謝礼規定を定めましたが、その運用を全期間行った初めての期となりました。

以上が概略となりますが、詳細の資料につきましては、当協会の監督機関である東京都庁に提出中で、後日都庁のホームページで公開されます。

## 第5期事業計画・予算を承認

5月10日の総会では、当期事業計画並びに予算の承認も議題として提出され、議決権を持つ正会員の投票で承認されました。第5期 経常収益 予算は、1,076,000円、同経常費用は、1,021,000円です。また、事業計画については下記の通りです。

### 第5期 事業計画

昨年度の活動を通じて、全国切手展「スタンペックスジャパン」および、ビデオ会議サービスの郵趣への活用の2点は、当協会が今後注力していく分野となった。従って、第5期の活動は、これまで同様定款に定めた事業を遂行する中で、特に上記の2事業の継続・発展を念頭に置いたものとする。

この方針のもと、下記事項を前提に予算を策定した。

1. スタンペックスジャパンに予算を計上し負担する。
2. ビデオ会議サービスを活用した郵趣振興を更に強化する。
3. COVID-19による影響を考慮し、催事の開催や準備を慎重に行う。

## 郵博 特別切手コレクション展の改善

2021年度第1回 郵博 特別切手コレクション展は5月8日から開幕を予定していましたが、東京都における3回目の緊急事態宣言の発出を受けて、郵政博物館での展示ができなくなりました。

この事態を受けて、主催者では、郵博 特別切手コレクション展の提供サービスの枠組みにクラウド展示（インターネットを通じた展覧会）を加えることを決定し、後援の無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社にシステム開発のご協力をいただき、クラウド展示システムを用意しました。

初めての運用となる『故郷ふるさとの郵便の歴史展』では、幸い全てのご出品者にクラウド展示にご参加いただくことができ、地方にお住まいの方はもちろん、首都圏にお住まいでもコロナ禍で外出が難しい大多数の収集家に、展示コレクションをご参観いただくことができ、大変好評でした。また、本年度に展示を予定している展覧会の内、複数から同様の展示を行いたい旨、ご希望をいただいております。

この反響を受けて、当協会では、今後の郵博 特別切手コレクション展のメニューを見直すことを決め、クラウド展示をコロナ禍における一時的なサービスではなく、メインメニューに加えました。

具体的には、今後の郵博 特別切手コレクション展は、郵政博物館で展示を行うことを前提とする点の変更ありませんが、展示団体はクラウド展示の追加を選択することが可能になりました。

また、クラウド展示でフレーム数の上限なく展示が可能になったことを受けて、郵政博物館における展示フレーム数の下限の緩和も決定しました。

これまでは原則として40フレームの展示が集まらなければ、郵博 特別切手コレクション展は開催できませんでしたが、今後は会場における展示フレーム数は20フレームから40フレームの間で展示団体が選択できるものとし、20フレーム程度の展示の場合には、死角のない切手コレクション展示パネルの配置も可能となりました。

非競争切手展を主催したいと考えている展示団体・グループのニーズは多様化してきていますので、当協会としては、その需要を満たすことができるサービスメニューの開発を今後とも行ってまいりたいと考えておりますので、どうぞご期待ください。

## 各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビション事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

### エキシビション事業

スタンペックスジャパン2021実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）」の活動

4/10-4/13 全国切手展 スタンペックスジャパン2021

郵博 特別切手コレクション展（2021年度）を、郵政博物館と共催で1回開催。

5/8-6/6 <sup>ふるさと</sup> 故郷の郵便の歴史展

今後の、郵博 特別切手コレクション展（2021年度）の準備・調整

### フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。(本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社委託しています)

### リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

### フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（3-5月で46件。対前四半期+35%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催 4団体 24回

オンライン郵趣例会を開催する切手サークルに対する集客支援方法の提供 2団体 16回

スタンペックスジャパン2021記念WEBセミナーの開催

4/4, 5/4, 6/6 WEBセミナー「競争切手展に向けた作品の改善方法」

### 次世代育成事業

特になし

### 総務ほか

役員改選に伴う代表理事に対する立候補の受付事務の補助（3/10-3/20）

総会の開催・役員改選（3/31）

総会の開催・前年度決算並びに今年度予算の決定（5/10）

第5期 会費更新事務、日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）